

別府市学校給食施設のあり方検討委員会

平成30年度第2回 議事録概要版

■日 時 平成31年2月25日（月） 8：30～13：00

■視察場所 1 別府市立境川小学校
2 別府市学校給食共同調理場
3 大分市学校給食西部共同調理場

■出席委員 福谷委員 蔵前委員 高松委員 大塚委員 米田委員 後藤委員 豊永委員
佐藤委員 稲尾委員 9名

■事務局 月輪教育政策課長 花木スポーツ健康課長 古手川 豊田 湊 佐藤 二宮

■傍聴者 なし 報道関係者2社

■視察概要

1 別府市立境川小学校

◆施設説明概要

別府市立境川小学校では、衛生管理基準が示される前のウェットのままの施設状況ではあるが、ドライ運用する方式をとっており、極力水分を床に落とさないよう調理を行っている。基準どおりにするならば、4フロアーに分けないといけなくなり現在の敷地面積以上の土地が必要となる。その際は改築する上で財政面での負担が大きいと思われる。

アレルギー対応食の調理については、基準どおりで行えばその他の調理と隔てられた調理室で行わなければならないが、施設の関係により1フロアーで行っている状況。しかし、最大限の注意を払って行っており、重大な事故等の発生は今までに無い。なお、家庭から代替食を準備いただいた際には、返金の対応を行っている。

子どもたちにとっては、校舎内で調理をしていることもあり、お昼が近づくことで給食調理の良い匂いが漂う。また、調理をする側としても子どもたちに直接触れ合い、声をかけることができ、食育の一環となっていると考えている。

2 別府市学校給食共同調理場

◆施設説明概要

別府市学校給食共同調理場は昭和47年に建築され、施設の老朽化が進んでおり、建て替えが急務。一昨年度の熊本地震の際にも天井プレートの剥落があり、修繕のために調理業務を止めざるを得なかった。現在、修理箇所の天井プレート（ビス止め・テープ止め）のテープが若干であるが浮いてきているように感じており、注意してい

る。

3 大分市学校給食西部共同調理場

◆施設説明概要

大分市学校給食西部共同調理場は、住宅地や商業地に近く、外観は騒音、悪臭等に
対応する建築としている。排気口は住宅地に向けない等の配慮をしている。

開設当時は8500食を提供していたが、現在は7150食となっている。

建設については、公募型プロポーザルで業者を決定。調理機器や食器については入
札で決定。

◆質疑応答概要

【委員】検食のため、サンプルで給食を冷凍保存しているが今までで活用する場面
があったか。

【事業所】これは、食中毒発生時の原因を追究するためのものであるため、現在まで
使用したことはない。

【委員】食材の調達について伺いたい。県産品や市の産物の活用をしているか。

【事業所】できるだけ活用したいと考えているがコストを考えると常時の活用はでき
ない。県産品を利用した献立を作成し提供する場合がある。

【委員】給食センターから学校へ届いた時のおかず等の温度はどうなっているか。

【事業所】温かいものは-5度、冷たいものは+5度の差で児童生徒に届いている。

【委員】直営運営と民間委託はどちらが効率がよいか。

【事業所】民間委託後のほうが費用・作業・サービス面において業務効率は上がって
いる。

【委員】建設費が22億、給食業務委託と配送業務委託で年間約2億の経費となっ
ているが、給食費での回収を考えているか。

【事業所】給食費は食材費だけなので、考えていない。

【委員】この西部共同調理場を改修するならどんな点と感じているか。

【事業所】西部共同調理場は運営開始後9年経過しており、機械設備の故障が目立つ
ようになってきた。また、コンテナを動かす上で狭い。換気が悪い。空調
設備があまり効かず、夏はとても暑いので場内のスペースをもっと広くし
たい。

【委員】小学校と中学校は同一の献立か。

【事業所】調理場は2献立で対応しているが、小学校と中学校で分けているのではな
く、地区で分けている。ただし小学校のほうは味付けを抑えている。顔の
見える調理場としてモニターノートを各学校に配布し、味付けや献立の感
想など児童生徒の意見を聞くようにしている。

- 【委員】食育についてはどのようにしているか。
- 【事業所】試食会を昨年度は30回ほど実施した。センターで実施する場合と学校へ出向いて実施する場合がある。小中学生が調理場に来ることは少ない。食育指導については、栄養教諭や栄養職員が学校に出向き行っている。
- 【委員】アレルギー対応はどのようにしているか。
- 【事業所】アレルギー対応室にて9品目の対応をしている。現在90名程度の対象者がおり、5名の職員で対応している。
- 【委員】小学校の調理室の状況は。
- 【事業所】48校中8校がドライシステム。2校は来年度ドライシステムに改修予定。残りの学校はドライ運用となっている。
- 【委員】ドライシステムへの改修は増築する予定か。
- 【事業所】校舎内にある調理室なので、面積の変更はない。現在の面積を仕切るので、狭くなると思う。来年度予定の学校は面積に余裕のある学校。
- 【委員】食器について。
- 【事業所】西部調理場ができるまではアルマイトの食器を使用していたが、現在は3種類の強化磁器を使用している。現在軽い食器の導入について検討を始めている。
- 【委員】単独中学校から調理場へ移行した保護者への説明会は行ったか。
- 【事業所】保護者説明会を実施した。保護者からの反対はなかった。現在、給食がおいしいと好評である。
- 【委員】防災時の対応について伺いたい。
- 【事業所】備蓄等を行っていない。避難所でもない。調理場の電源は電気・ガス・ボイラーなので災害時に故障等なければ、炊き出しは可能と考える。
- 【委員】小学校に給食を配送することがあるか。
- 【事業所】小学校の給食施設の改修時などに、西部調理場から給食を提供したことがある。今後も大規模改修の小学校があれば、そういうこともあると思う。
- 【委員】西部調理場が給食を提供できなかったことがあるか。
- 【事業所】ボイラーの蒸気の関係で翌日の給食が停止になったことがあったが、温める必要のないレトルトカレーで対応したことがあった。
- 【委員】配送は別委託となっているが、配送車について伺いたい。
- 【事業所】配送車については、委託業者が用意している。

■その他（今後の予定）

- ・第3回別府市学校給食施設のあり方検討委員会・・・4月12日（金）
- ・第4回別府市学校給食施設のあり方検討委員会・・・4月24日（水）の予定